



編集発行 南薩地域振興局農林水産部農政普及課

TEL 0993-52-1359

南薩地域振興局農林水産部農政普及課指宿市十二町駐在

TEL 0993-22-6422

## きばれ！ニューファーマー！！新規就農者への支援活動

### ○ニューファーマーの集い

南薩地域には、毎年多数の新規就農者があり、今後の地域農業の担い手として期待されています。南薩地域振興局農政普及課では、新規就農者の経営発展に向けて身近に支援する指導農業士や市町村・農協等の関係機関・団体が一堂に会し、営農活動の門出を祝福する「ニューファーマーの集い」を南九州市（7月13日）及び指宿市（5月16日）の2会場で開催しました。

当日は、新規就農者24名を含む129名の参加があり、それぞれの立場から新規就農者への励ましの言葉や営農に向けた助言指導が行われました。

また、農林水産部長は、「大リーガー大谷翔平選手の曼荼羅チャート目標達成票」の事例を紹介し、将来の農業経営発展に向けて目標を持つことや日頃の小さな活動の積み重ねの大切さをアドバイスしました。



ニューファーマーの集いにて  
新規就農者を祝福

これに対し、南九州市の新規就農者は、「両親から引き継いだものをさらに発展させていきたい。」と抱負を述べました。



就農への思いを語る新規就農者

### ○新規就農者への支援活動

新規就農者等への支援策として、農業基礎講座や専門講座等の開催、就農計画作成支援等を行っています。特に専門講座は、指導農業士や先輩農家からの具体的なアドバイスを受けることができ、好評を得ています。



基礎研修で農業機械の取扱いを研修

# GAPの取組

## 1 GAP (Good Agricultural Practice)とは

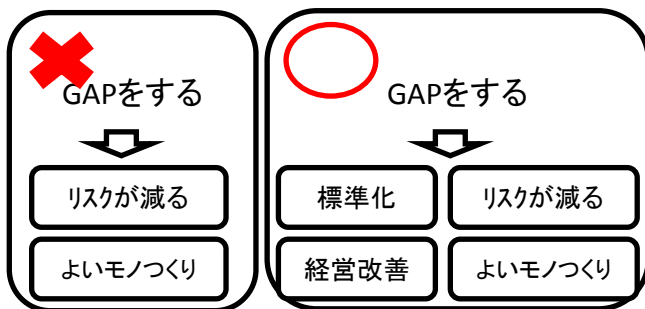
- ①農産物の生産で最も重要なことは、食品としての安全を確保することです。
- ②食品安全だけでなく、環境保全、労働安全、人権保護、農場経営管理に関する取組を行うことで、持続可能な農業生産につながります。
- ③GAPは、これらの取組状況を記録簿や掲示物によって確認・掲示しながら農業活動を改善することで、より良い農業経営を実現する取組です。

## 2 GAP実践の目的・もたらすメリット

GAPに取り組むと他の農産物と差別化ができて高く売れるようになっていってほしい方・・・ちょっと違います。

GAPは農産物の差別化をする取組ではなく、誰もが農業をする上で守るべき基準のようなものです。

GAPの取組を行うことによって作業手順の標準化や効率化が図れ、さらに食品や労働の安全性が確保されます。その結果、よいモノを生産することができるようになるということです。



## 3 GAPをする(実践)

### ①まずは整理整頓

整理整頓や、生産履歴の記帳が基本です。

### ②農場内を点検し、問題点を改善

農業生産の中で、問題点を見つけたら、必要な対策を考えて、それを実行し、その内容を記録・点検し、継続的に改善しましょう。

### ③GAPの取組を支援します

農政普及課には、JGAP指導員がいます。

茶3名、野菜2名(南薩振興局本所)

野菜2名(指宿駐在)

## 4 GAP認証を取る(第三者認証取得)

たとえば・・・

- ・取引先や販売先からの要求に応じたい
  - ・自分の農場を客観的に評価したい
  - ・2020東京オリ・パラに食材供給したいと思ったら、認証取得をおすすめします。
- 取り組みやすさや必要経費を考慮すると以下の順になると考えています。

①K-GAP(鹿児島県)

②JGAP, ASIAGAP(日本GAP協会)

③GLOBALG.A.P.(Food PLUS GmbH)

## 5 GAPの導入・実践支援

当管内では多くの方々が、K-GAPに取り組んでいます。

H30.6現在、23品目、40団体となっています。GAPの導入・実践について、支援しますので、南薩地域振興局農政普及課までお問い合わせください。



IPMとK-GAPを実践 オクラ部会エコファーマーグループ



衛生的な鶏卵選別包装工程 (有)サンエッグ



更新審査 茶業振興会K-GAP推進部会

# JAいぶすき観葉植物部会がサマーセミナーを開催

7月11日にJAいぶすき観葉植物部会サマーセミナーが指宿市内のホテルで行われました。JAいぶすき観葉植物部会では、出荷・販売が一段落する夏期に研修会と交流会を行ってきており、今年も42名の生産者が参加しました。研修内容は「観葉植物に適した施肥法」についてで、(株)ジェイカムアグリの郡司掛則昭氏より講演がありました。ちなみに(株)ジェイカムアグリは観葉植物栽培において最も使われ



写真1 郡司掛氏による講演

ているIB肥料を製造・販売しています。

郡司掛氏は、指宿市の観葉植物生産の歴史や全国における位置付けまで触れたうえで、植物の特性を踏まえた施肥方法をわかりやすく説明されました。やや時間不足な面もありましたので、出席者からはいつか続編を、との声も聞かれました。

研修後の交流会でも、講師と生産者との情報交換や交流が大いになされ、生産者の土壌肥料への関心の高さがうかがえました。



写真2, 3 会場を彩った観葉植物

## 枕崎市大塚周年菊研究会が新肥料を製作！

枕崎市大塚花き団地で輪ギクの生産に取り組む若手生産者8名から組織される大塚周年菊研究会が、地域で使いやすい新配合肥料「一発きくどん有機入り」を製作し、販売が開始されました。

これは、研究会で取り組んでいる産地の課題解決プロジェクトを通して製作されたもので、長年の連作によりリン酸過剰が問題視されている産地のほ場で使用しやすいように、リン酸分を含まず、また、窒素の効きがキクの生育や肥料吸収に適した、周年使用できる配合肥料となっています。



試験ほ場での現地検討

これまで、既存の配合肥料には、必要以上のリン酸分を含む製品が多かったことから、リン酸過剰ほ場では、窒素、カリなどの単肥を数種類組み合わせる必要があり、多大な労力が掛かっていました。

この課題を解決しようと、県経済連をはじめとする関係機関と連携し、1年半かけて、肥料製造研修や配合内容の検討、試作品による栽培試験等を実施してきました。

完成した肥料は、地域の生産者にも紹介されて好評を得ており、今後の研究会活動にも多くの期待が寄せられています。



**N:P:K=16:0:16**

**油かすペレット**

**LPコート 30**

**LPコート S30**

**硫安、硫カリを  
配合した肥料です**

# 声をかけあい助けあい 農作業事故ゼロへ！

鹿児島県では、平成24～29年の6年間で76件の農作業死亡事故が発生しました。平均で毎年約15人が亡くなっています。平成30年1～8月の期間には、7件の死亡事故が発生しており、多発した3～5月には「農作業死亡事故多発警報」が発令されました。

「いつでも重大事故が起こりうる」、「いつも危険と隣り合わせ」なのが農作業です。下記の注意事項と併せて体調管理、家族や周囲の人への声かけを意識して行い、安全な農作業に取り組みましょう！



2017年秋の農作業安全確認運動ポスター  
(兵庫県谷川真唯さんの作品)

### 「農作業死亡事故多発警報」発令時の注意喚起事項（3月20日～5月31日）

1. トラクターの**安全フレームの装着**

2. トラクターの**シートベルト・ヘルメット着用**

3. 農業機械の取扱には十分注意

4. **携帯電話の携帯**

4. **点検時はエンジン停止**

5. 雑草の巻き付きを取り除くときも**エンジン停止**

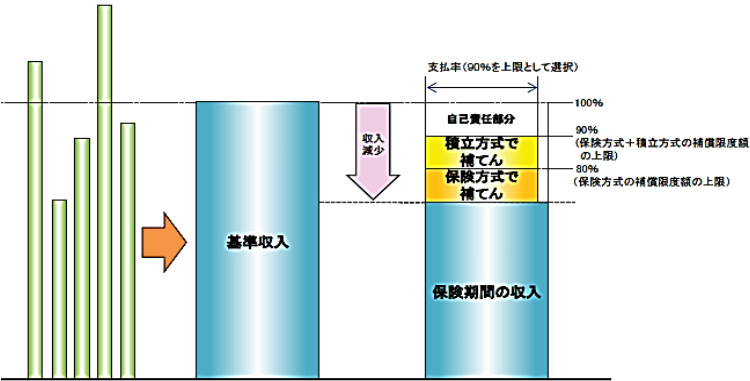
6. **火の取り扱いには十分注意**

## 平成31年1月から収入保険制度が始まります！

収入保険制度は、対象作物を限定せず、自然災害による収量減少に加え、価格低下など農業経営全体の収入減少を補填する制度です。  
＜加入・支払い手続きのスケジュール＞



＜収入保険の補てん方式＞



（注）5年以上の青色申告実績がある者の場合

### 収入保険制度の概要

- 1 対象者  
青色申告を行っている農業者（個人・法人）
- 2 対象収入  
農業者が自ら生産した農産物の販売収入
- 3 対象要因  
自然災害に加え、価格低下など経営努力では避けられない収入減少を補償
- 4 補償限度額  
保険期間の収入が基準収入（過去5年間の平均収入）の9割を下回った場合に、下回った額の9割を補填
- 5 保険料  
保険料率は、1.08%（国庫補助後）

収入保険制度は、収益性の高い新規作物の生産や新たな販路の拡大等にチャレンジする農業経営者の意欲的な取組を支援する保険です。

詳細は、南薩農業共済組合（TEL 0993-58-3100）へ問合せください。